



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月30日

上場会社名 中央発條株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5992 URL <https://www.chkk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 健太
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 藤田 誠一 (TEL) 052-624-8539
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	25,520	6.3	136	—	1,394	7.0	977	21.6
2024年3月期第1四半期	24,006	18.2	△53	—	1,302	56.1	804	202.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △1,875百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 4,786百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	38.74	—
2024年3月期第1四半期	31.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	149,666	90,099	57.2
2024年3月期	153,572	92,395	57.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 85,586百万円 2024年3月期 87,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	103,000	2.0	1,500	39.7	2,000	△35.4	1,200	△39.7
								47.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	25,542,396株	2024年3月期	25,542,396株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	301,142株	2024年3月期	298,448株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	25,241,965株	2024年3月期1Q	25,254,131株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
参考資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における主要取引先の売上高は前年同四半期に比べ、国内は一部の取引先における生産停止の影響がありましたが、減少幅は最小限にとどまる一方、新製品スタビライザの量産開始による新たな取引拡大の影響が大きく増加し、海外は中国において販売競争の激化や景気減速による減少はあったものの、グローバル全体では増加いたしました。

このような状況のなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が前年同四半期に比べ15億1千4百万円増収（前年同四半期比6.3%増）の255億2千万円となり、売上高は過去最高となりました。

損益の状況につきましては、営業利益が前年同四半期に比べ1億9千万円増益の1億3千6百万円（前年同四半期は5千3百万円の営業損失）、経常利益が前年同四半期に比べ9千1百万円増益の13億9千4百万円（前年同四半期比7.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ1億7千3百万円増益の9億7千7百万円（前年同四半期比21.6%増）となりました。

営業利益は、売上高の増加及び合理化改善による増益影響が、将来を見据えた積極的な設備投資、新製品開発に対する研究開発費及び従業員の昇給を含めた人的投資などの「意志ある固定費」を吸収し増益となりました。製品の高付加価値化として新技術を搭載した新製品スタビライザの量産開始による収益性の向上に加え、為替変動の影響を最小化するグローバルでの調達ソーシングの柔軟な改善、仕入先様と一体となり双方にとりメリットの見えるエンジニアリング調達の推進による直材費低減や全員参加による愚直な生産性改善の追及などあらゆる原価低減活動を実施し、増益を確保できました。先期まで大きなインパクトのあった資材・物流費・動力光熱費のインフレは、価格高止まりにより更なる悪化影響は少なく、また人的投資に含まれる従業員の昇給による労務費インフレに対しては、現在お客様と適正な売価反映交渉を実施中であり、今後交渉が成立し次第決算数値に反映してまいります。地域別では国内収益改善が、中国の台数減による収益減を上回り増益となっております。

経常利益は営業利益の増加などの増益要因が、為替変動による減益要因を上回り増益となりました。当第1四半期の為替は円安方向にシフトしておりますが、前年同四半期の円安の振れ幅が本年よりも大きく、当社保有の外貨建資産に対する営業外収益が縮小したことにより為替変動は減益要因となっております。

親会社株主に帰属する四半期純利益も経常利益の増加などにより増益となりました。

当連結会計年度業績予想に対し当第1四半期累計期間の期間按分平均による進捗のペースは、売上高がオープンペース、営業利益は想定内レベル、経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は過達ペースとなっております。営業利益は国内主要取引先の自動車生産台数の第2四半期からの増加及び全社を挙げての合理化改善の加速化に加え、労務費インフレに対するお客様売価反映などにより、通期では公表値を達成する見込みです。

一方、経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は為替が想定レートに対し大きく円安となっていることを主要因とし、第1四半期時点では過達ペースとなっておりますが、為替は今後依然不透明であり、今回公表値は修正いたしません。

なお、2024年5月23日に公表いたしました「当社製品搭載車両の市場回収処置に関するお知らせ」に対しましては、お客様・関係各位の皆様にご迷惑とご心配をおかけしました。衷心より深くお詫び申し上げます。業績に与える影響につきましては、現時点で合理的に算出することは困難であるため、今後開示すべき事項が生じた場合は速やかに業績影響を開示いたします。

本年は昨年策定した『中長期経営計画』の2年目にあたり、昨年、すでに売上高が1,000億円を達成しておりますので、2027年度目標を売上高1,100億円、営業利益55億円、ROE5%以上といたしました。本年は昨年に引続き「先行投資期間」として更なる成長投資を行うと共に、高付加価値製品やEV化対応を軸とした「商品力強化」、グローバル事業活動強化や非自動車分野の拡充を軸とした「新規分野進出」、加工技術内製化やグローバル調達改善、生産性改善を軸とした「画期的な原価低減」の3つの戦略を着実に進展させることで、収益力のさらなる向上に取組み、中長計目標の達成を目指します。

一方、チャレンジングな目標を達成するうえで最も重要なことは安全・品質・コンプライアンス最優先の取組みです。前年の事故、本年の品質問題の教訓を生かし、徹底的な要因解析と対策を確実に実施いたします。改めて安全・品質の基本に立ち返り、それを遵守し、全員参加で維持してまいりますよう最大の努力を図ってまいります。

今後も、クリエイティブ・カンパニーとして信頼され続ける『100年企業』を目指し、『社会』と『人』に優しく持続的に企業価値を高め続けられる会社づくりに邁進します。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

〔日本〕

売上高187億3千5百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益5億6千2百万円（前年同四半期は4千9百万円の営業損失）となりました。

〔北米〕

売上高24億2千3百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業損失6千万円（前年同四半期は1千5百万円の営業利益）となりました。

〔中国〕

売上高24億2千9百万円（前年同四半期比20.6%減）、営業損失2千9百万円（前年同四半期は2億2千万円の営業利益）となりました。

〔アジア〕

売上高40億7千2百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益1億5千7百万円（同14.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は557億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6千3百万円減少(0.6%減)いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少(13億7千2百万円)、商品及び製品の減少(2億3千3百万円)及び現金及び預金の増加(13億5千1百万円)によるものであります。

固定資産は939億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億4千2百万円減少(3.6%減)いたしました。これは主に投資有価証券の減少(47億9千万円)によるものであります。

この結果、総資産は1,496億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億6百万円減少(2.5%減)いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は199億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千6百万円減少(0.6%減)いたしました。これは主に未払金の減少(11億7千7百万円)、賞与引当金の減少(6億8千4百万円)及び未払費用の増加(14億2千8百万円)によるものであります。固定負債は395億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億8千3百万円減少(3.6%減)いたしました。これは主に繰延税金負債の減少(15億4千万円)によるものであります。

この結果、負債合計は、595億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億9百万円減少(2.6%減)いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は900億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億9千6百万円減少(2.5%減)いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少(33億5千7百万円)によるものであります。

この結果、自己資本比率は57.2%(前連結会計年度末は57.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年4月25日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,123,118	22,474,173
受取手形及び売掛金	15,345,922	13,973,458
電子記録債権	2,420,593	2,805,405
商品及び製品	3,871,745	3,638,190
仕掛品	1,878,883	1,780,948
原材料及び貯蔵品	9,254,712	9,210,964
未収入金	555,340	484,175
その他	1,700,483	1,413,492
貸倒引当金	△27,670	△21,559
流動資産合計	56,123,131	55,759,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,956,756	32,812,165
減価償却累計額	△25,979,590	△26,345,221
建物及び構築物（純額）	5,977,165	6,466,944
機械装置及び運搬具	69,784,722	71,168,272
減価償却累計額	△56,462,842	△57,481,871
機械装置及び運搬具（純額）	13,321,879	13,686,401
土地	9,725,718	9,778,381
建設仮勘定	5,346,396	5,448,203
その他	12,048,850	12,113,107
減価償却累計額	△11,069,933	△11,114,290
その他（純額）	978,917	998,816
有形固定資産合計	35,350,077	36,378,747
無形固定資産		
ソフトウェア	171,538	182,023
その他	32,597	8,509
無形固定資産合計	204,136	190,532
投資その他の資産		
投資有価証券	41,827,887	37,036,943
長期前払費用	597,348	571,334
繰延税金資産	217,777	256,727
退職給付に係る資産	19,018,464	19,229,269
その他	244,498	254,509
貸倒引当金	△10,426	△10,426
投資その他の資産合計	61,895,549	57,338,359
固定資産合計	97,449,763	93,907,639
資産合計	153,572,894	149,666,889

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,124,427	11,412,460
電子記録債務	1,629,067	1,442,589
短期借入金	686,000	696,500
リース債務	124,495	122,911
未払金	1,933,551	756,299
未払費用	1,947,471	3,375,734
未払法人税等	391,585	476,598
賞与引当金	1,465,004	780,214
役員賞与引当金	58,394	12,576
製品保証引当金	19,160	21,212
その他	720,548	876,301
流動負債合計	20,099,707	19,973,399
固定負債		
長期借入金	23,000,000	23,000,000
リース債務	246,426	245,505
繰延税金負債	16,437,938	14,896,973
役員退職慰労引当金	68,672	31,684
退職給付に係る負債	1,085,350	1,178,005
資産除去債務	136,633	137,056
その他	102,414	105,158
固定負債合計	41,077,435	39,594,383
負債合計	61,177,142	59,567,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,837,208	10,837,208
資本剰余金	11,074,224	11,074,224
利益剰余金	28,770,197	29,445,152
自己株式	△308,631	△308,689
株主資本合計	50,372,999	51,047,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,012,568	23,655,489
為替換算調整勘定	1,875,903	2,490,509
退職給付に係る調整累計額	8,650,948	8,392,970
その他の包括利益累計額合計	37,539,420	34,538,968
非支配株主持分	4,483,332	4,512,241
純資産合計	92,395,752	90,099,106
負債純資産合計	153,572,894	149,666,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	24,006,537	25,520,937
売上原価	21,816,098	23,028,753
売上総利益	2,190,439	2,492,183
販売費及び一般管理費	2,244,317	2,355,872
営業利益又は営業損失(△)	△53,878	136,310
営業外収益		
受取利息	5,031	23,555
受取配当金	432,427	559,981
為替差益	921,732	664,529
その他	36,505	57,350
営業外収益合計	1,395,698	1,305,416
営業外費用		
支払利息	10,019	30,398
固定資産除売却損	12,280	4,108
その他	16,767	12,811
営業外費用合計	39,067	47,318
経常利益	1,302,752	1,394,408
税金等調整前四半期純利益	1,302,752	1,394,408
法人税等	447,750	398,854
四半期純利益	855,002	995,553
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,847	17,670
親会社株主に帰属する四半期純利益	804,154	977,882

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	855,002	995,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,350,872	△3,352,011
為替換算調整勘定	583,461	738,904
退職給付に係る調整額	△3,016	△257,663
その他の包括利益合計	3,931,317	△2,870,770
四半期包括利益	4,786,320	△1,875,217
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,643,192	△2,022,568
非支配株主に係る四半期包括利益	143,127	147,351

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	16,097,316	2,350,030	2,225,049	3,334,140	24,006,537
セグメント間の内部売上高 又は振替高	868,971	32,241	834,240	709,285	2,444,740
計	16,966,288	2,382,271	3,059,290	4,043,426	26,451,278
セグメント利益又は損失(△)	△49,194	15,124	220,753	183,390	370,073

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失(△)	金額
報告セグメント計	370,073
未実現利益の消去等	△10,270
全社費用(注)	△413,681
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△53,878

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	17,943,227	2,422,324	1,726,952	3,428,432	25,520,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	792,769	1,645	703,040	643,779	2,141,234
計	18,735,997	2,423,970	2,429,992	4,072,211	27,662,171
セグメント利益又は損失(△)	562,822	△60,984	△29,171	157,541	630,207

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	630,207
未実現利益の消去等	9,689
全社費用(注)	△503,586
四半期連結損益計算書の営業利益	136,310

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

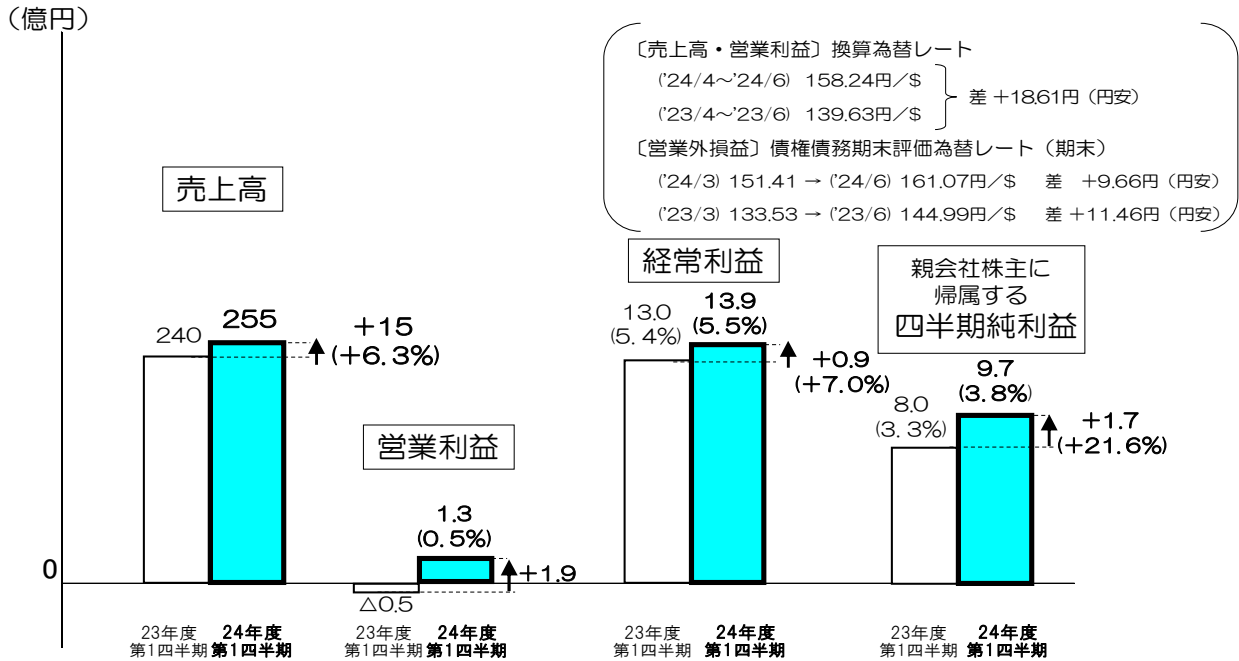
当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
減価償却費	890,586千円	981,107千円

- 売上高 …国内では一部の取引先における生産停止の影響がありながらも、新製品の量産開始による取引拡大が寄与し増加、海外では中国において販売競争の激化や景気減速による減少はあったもののグローバル全体では増加し、増収。
- 営業利益…高収益製品の量産開始と合理化改善による収益貢献が、設備投資・研究開発費・人的投資などの「意志ある固定費」を上回り、増益。
- 経常利益…営業利益増益などにより、増益。

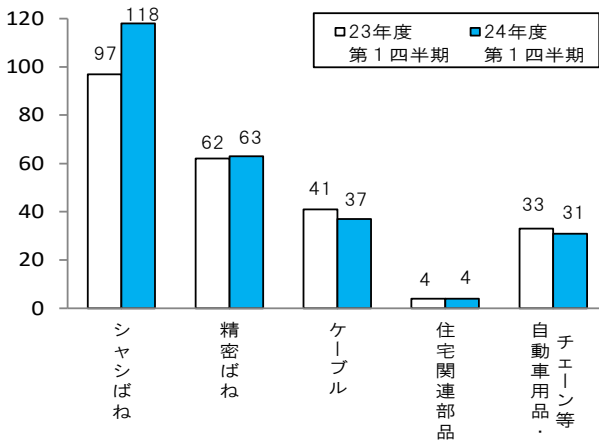
1. 連結決算の状況

(金額単位：億円)



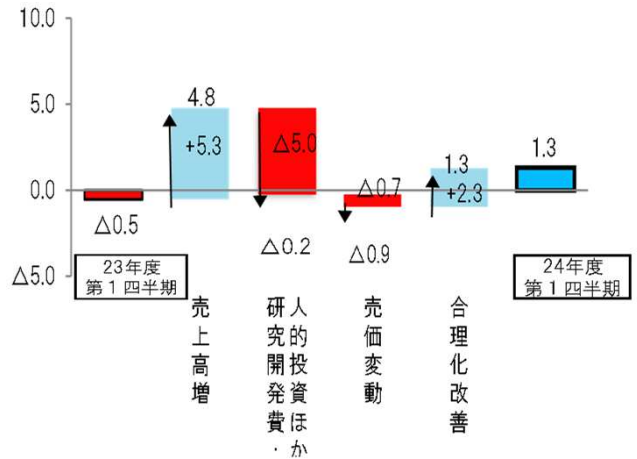
2. 製品別売上高明細

(単位：億円)



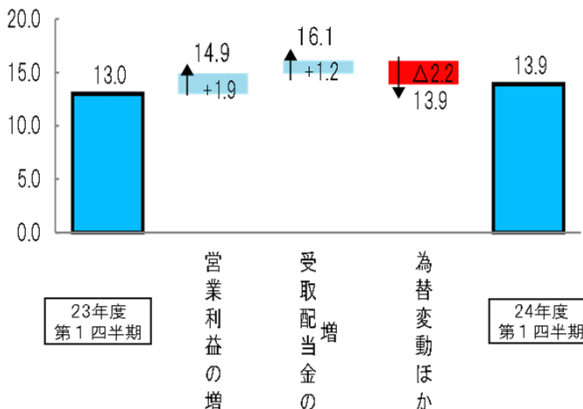
3. 利益の増減要因(対前年同四半期比)

(1) 営業利益又は営業損失(△) (単位：億円)



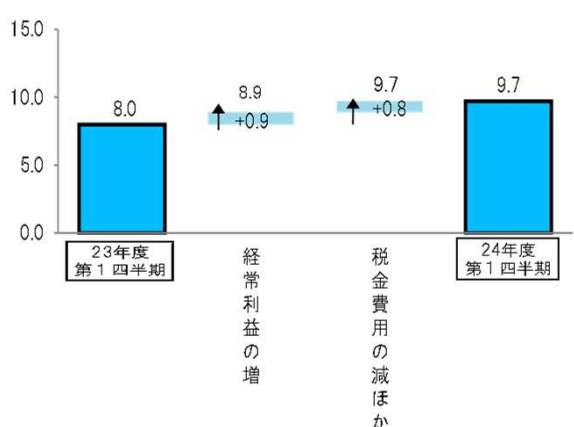
(2) 経常利益

(単位：億円)



(3) 親会社株主に帰属する四半期純利益

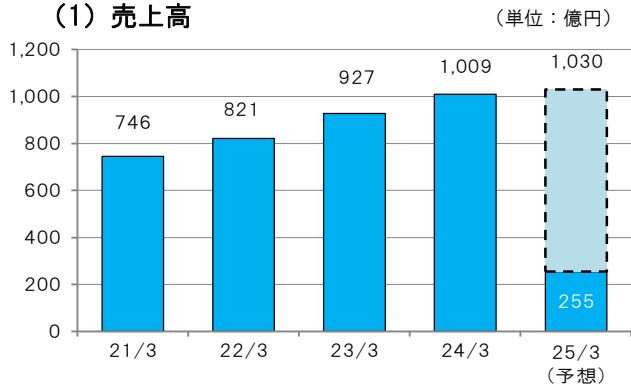
(単位：億円)



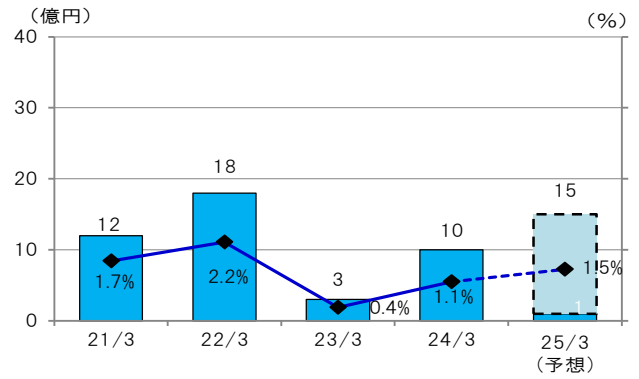
(金額単位：億円)

4. 業績推移

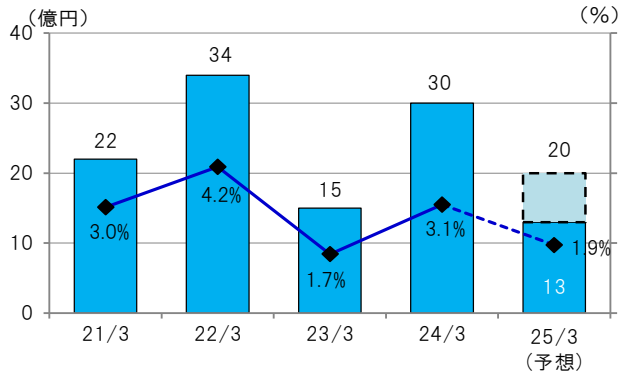
(1) 売上高



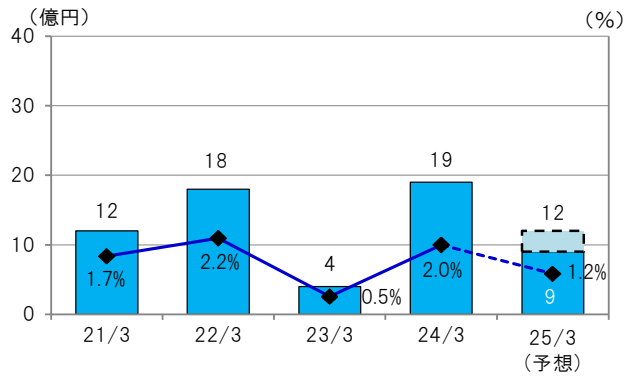
(2) 営業利益



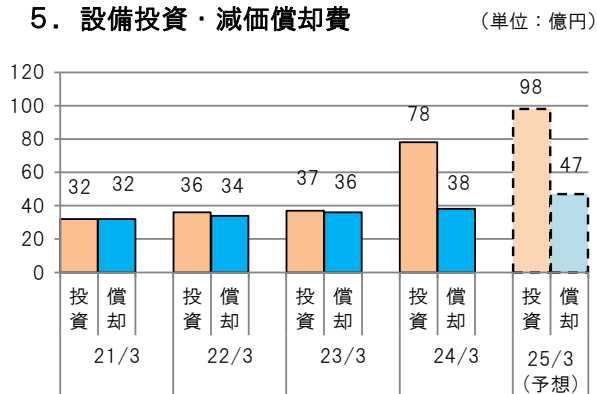
(3) 経常利益



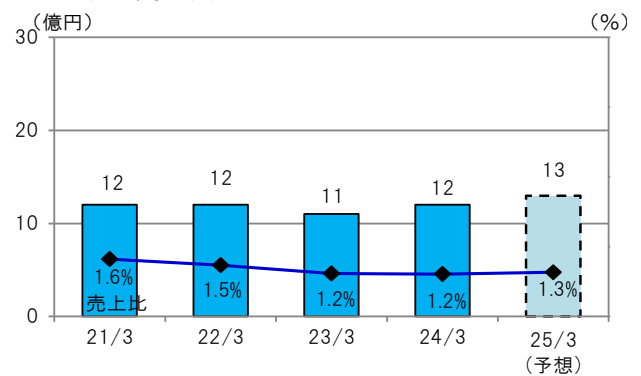
(4) 親会社株主に帰属する当期純利益



5. 設備投資・減価償却費

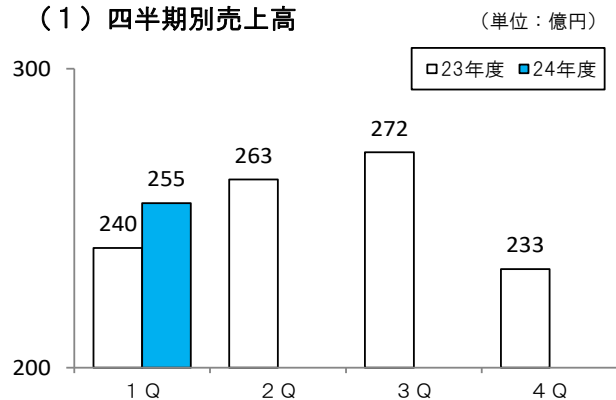


6. 研究開発費

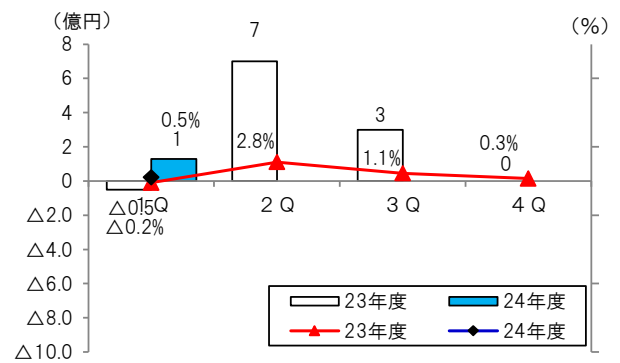


7. 四半期別業績比較

(1) 四半期別売上高



(2) 四半期別営業利益又は営業損失 (△)



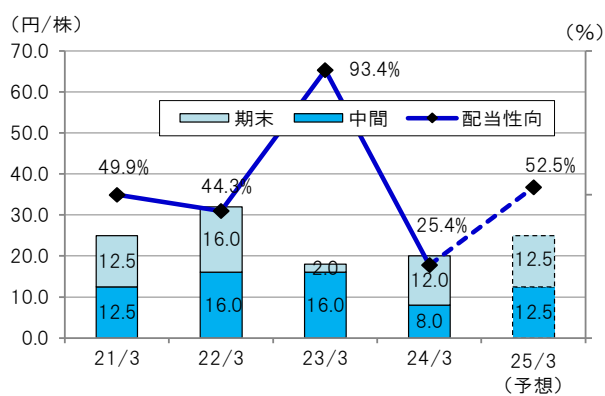
(金額単位：億円)

8. 貸借対照表

(単位：億円)

資産の部				負債・純資産の部			
科目	24/03	24/06	増減	科目	24/03	24/06	増減
流動資産	561	557	△3	流動負債	200	199	△1
現金及び預金	211	224	+13	買入債務	127	128	+1
売上債権	177	167	△9	借入金	6	6	+0
たな卸資産	150	146	△3	その他	66	64	△2
その他	22	18	△3	固定負債	410	395	△14
				借入金	230	230	-
				その他	180	165	△14
固定資産	974	939	△35	(負債計)	611	595	△16
有形固定資産	353	363	+10	株主資本	503	510	+6
無形固定資産	2	1	△0	その他包括利益累計額	375	345	△30
投資その他資産	618	573	△45	非支配株主持分	44	45	+0
				(純資産計)	923	900	△22
計	1,535	1,496	△39	計	1,535	1,496	△39

9. 配当金・配当性向



(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無